

鏡川流域パートナーシップだより No.247 R7.11.4



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

大阪市×鏡川流域！追手門学院高校生の研修旅行！

追手門学院高校（大阪市）の2年生約30名が、10月27日（月）～31日（金）に、研修旅行で高知市を訪れました。

生徒の皆さんは、高知市の中山間地域（土佐山など）を散策する「山組」と、中心市街地周辺を散策する「街組」に分かれ、住民へのインタビューなどを通じて、高知市の魅力を発見するための現地調査を行いました。また、その学習成果を、自由参加型の体験プログラムを通じて発表しました。

★10月28日（火）には、「街組」の皆さんが鏡川下流域を散策！高知市の自然や人、文化を感じるひと時になりました♪



まず、高知市役所の玄関に掲示された高知市民憲章を確認しました！「鏡川を清潔なまちのシンボルにしましょう」という記述があります。



山内神社の社務所職員さんのご厚意で、普段は入ることができない社殿の中を特別に見学させていただきました！山内神社の歴史についても詳しく教えていただきました。



生徒の皆さんは、山内神社でおみくじを引いて、「恋愛」や「学業」などの運勢を見せ合っていました！高知の文化や歴史を楽しく実感することができました。



鏡川清流保全条例の「自然環境保全区域」に指定されている山内神社の森を歩くと、生徒の皆さんから「めっちゃ綺麗！」「この雰囲気すごい好き」という声が聞こえてきました。



鏡川みどりの広場では、川辺で横になったり、貝や魚を探したりと、自由に過ごしました。生徒さんから「ずっとここにいたい」という声も聞こえました。



坂本龍馬が幼少期を過ごし、鏡川で泳ぐ練習をしたというエピソードが残る築屋敷を散策しました。



「自然環境保全区域」のひとつ、石立八幡宮の森を訪れ、まちのコイン「ぼっち」のQRコードを読み取ります！自然とのつながりを可視化しました。



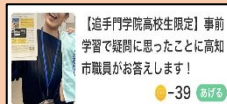
散策中、「地元の淀川よりもずっと川との距離が近い！」「鏡川で遊んでみたい」という声がありました！鏡川下流域の日常の魅力が伝われば幸いです。

★10月30日（木）には、「和の森 sotooffice（高知市はりまや町）」にて、現地調査で学んだことを活かしたワークショップを開催！



生徒の皆さんが感じた高知市の魅力は、「地元の特産品や自然環境に誇りを持っている人が多い」「誰かのために尽くす姿勢」など！これらを体感してもらうために、「高知名物すごろく」や「高知あるある大富豪（トランプ）」などの体験プログラムを用意し、一般参加者に体験してもらいました。高知市の魅力を多くの人と共有できました♪

「ぼっち」で「追手門学院×高知市 研修旅行計画」というスポットを作成し、今回の研修旅行で生まれた関係性を可視化しています。今後も追手門学院高校の皆さんと鏡川流域とのつながりが続いていくよう、連携できればと思います^^



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっち」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっち」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android